

対象	中学校以上
教科	国語科
該当 単元	中学 1 年以上 語彙力を付ける 擬声語・擬態語
教科書	
掲載日	2019. 10. 25. 朝刊東濃版 11 版

本の内容オノマトペで

「ぺたっぺたっ」「じいっ」。書名や内容が隠され、袋の表面に書かれているのは「オノマトペ」と呼ばれる擬声語だけ。オノマトペだけで本を選び、新たな本との出会いをつくる企画展「音で楽しむ図書館 オノマトペの世界」が、瑞浪市土岐町の瑞浪市民図書館で開かれている。十一月十日まで。（真子弘之助）

瑞浪市民図書館



オノマトペは古代ギリシヤ語が語源で、見た目や手触りなどの感覚を言葉で表現したもの。二十七日～十一月九日の読書週間に合わせて、本の面白さを伝える方法のひとつとして企画展にオノマトペを活用した。オノマトペで表現された本は約四十冊で、ジャンルは小説や絵本、実用書などさまざま。すべて新聞紙で包まれ、来館者は大きなかごの中から一冊ずつ手に取って選んでいく。貸し出しの手続きを終えて、包装を開くまで内容は分からない。それぞれのオノマトペは、職員やボランティアが本のイメージからつけ、本の内容や装丁を連想できるように、字体やイラストなどのデザインも工夫した。

同館職員の吉田萌実さん（左）は「オノマトペから連想するイメージが人によって

オノマトペだけで紹介された本を手にする吉田さん（左）と瑞浪市土岐町の瑞浪市民図書館で

ジャンルさまざま 選んで出会い わくわく

て違つのが面白い」と顔をほころばす。オノマトペだけで、どんな本が入っているのか当てるのは難しい。例えば、「コトコト」は何かを煮込んでいるような音だが、実はSF小説だったりする。利用者からは「普段読まない本に出合えて面白かった」との感想が寄せられたという。

吉田さんは「本の内容を音だけで表現して紹介する企画は他に例がないのでは。気になったオノマトペを手掛かりに、多くの本を手にとつてほしい」と新しい本の楽しみ方を勧めている。

記者の#つぶやき

面白そうな企画を知り、「浮き浮き」しながら取材に向かいました。記事を読んでも「わくわく」していただければと思います。今日の新聞を読んで、どんなオノマトペを思い浮かべたのでしょうか。



問1：「オノマトペ」とは、どんなものなのでしょうか。本文中から25字以内で抜き出しましょう。

()

問2：「記者の#つぶやき」から、オノマトペを二つ抜き出しましょう。

() ()

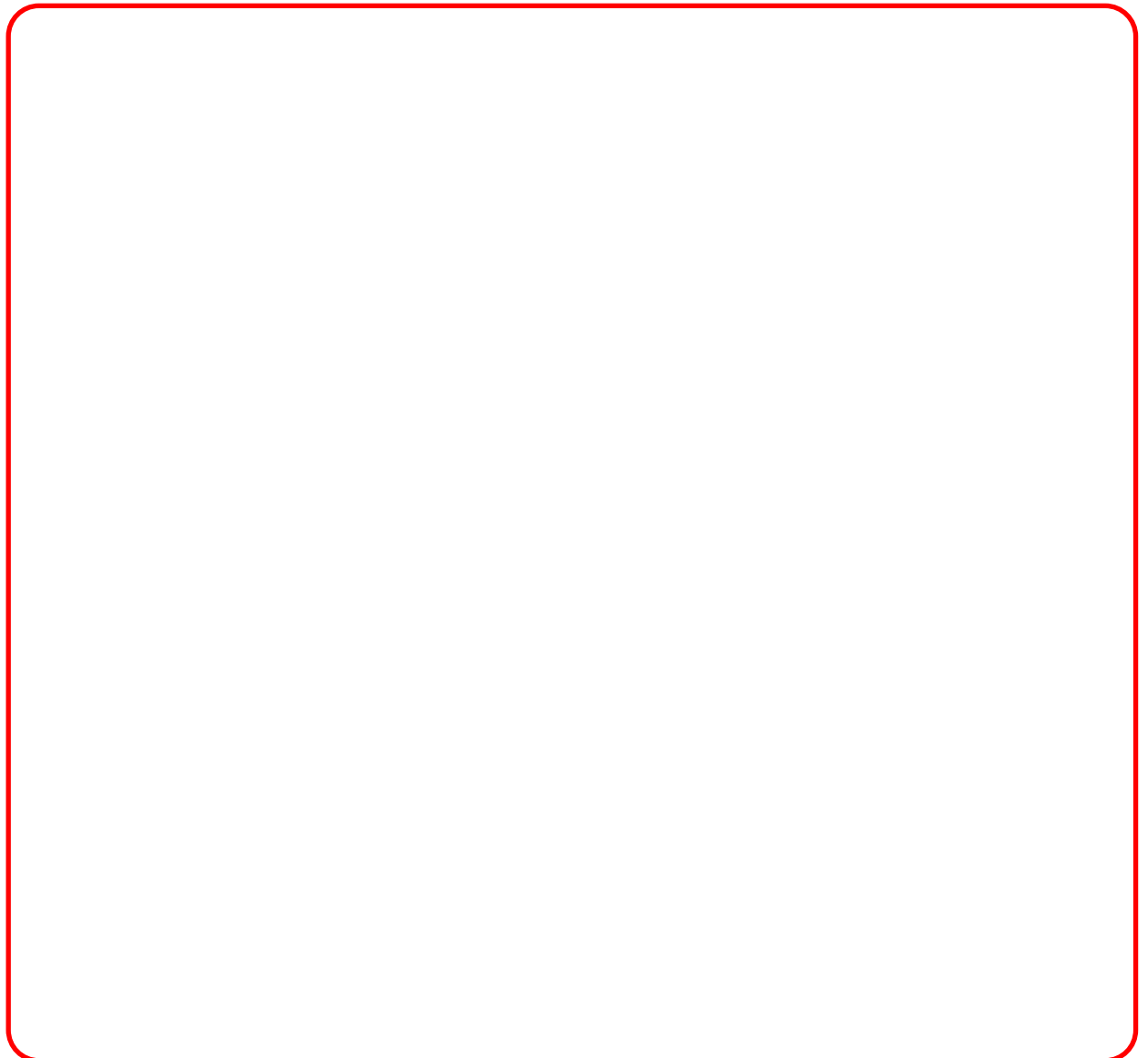
発展:今までの国語の授業で学習した物語の内容をオノマトペだけで表現し紹介してみましよう。

物語名 ()

オノマトペ



このオノマトペにした理由を書きましよう。



【活用にあたって】

オノマトペ（擬声語・擬態語）については、授業で取り立てて指導することが少なくなりました。文学作品の読み取りで表現の工夫として指導するくらいでしょうか。「もずの声がキンキンひびいていました」の「キンキン」に着目させ情景を読み取るような学習です。

表現のおもしろさを実感させるには、このオノマトペに着目させ、オノマトペを抜いた表現と比較させるなどの表現を吟味するという学習活動を仕組むことが大切です。

物語をオノマトペだけで表現する発展問題はとても難しいのですが、擬声語・擬態語辞典などを参考にさせるとよいでしょう。

解答例

問1：見た目や手触りなどの感覚を言葉で表現したもの

問2：浮き浮き、わくわく

発展：「ごんぎつね」「大造じいさんとガン」など心に残っている物語を読み返し、作品世界をオノマトペだけで表現してみましょう。そう考えた理由は、「～だから、～です」というように根拠をあげて書くことです。